

偶数月には1回「抱樸館を支える会」会員の方にお届けしています

抱樸館を支える会 会報



2026

8 月
vol.78

2026年8月1日発行:抱樸館を支える会

この一年をふりかえって

「抱樸館を支える会」会員みなさまへ

いつも温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。
皆様からお預かりした大切な会費は、3つの抱樸館(北九州・福岡・熊本)をはじめ、子どもたちへの支援(フードサポート・みんなの居場所)などに活かされております。

厳しい社会状況が続く今だからこそ、「抱樸館を支える会」の存在意義は、ますます大きなものとなっています。

今回は一年をふりかえって
それぞれの主な活動を集めました。



みんなの居場所
(りすのおうちグリーンベース)



野外交交流会
(抱樸館北九州)



地域の歩こう会に参加(抱樸館福岡)



春の交流会(抱樸館熊本)

contents

特集 この一年をふりかえって

- 抱樸館福岡 経営状況について…2p・3p
- 一年間の活動報告 ……4p・5p

- みんなの居場所……………6p
- 抱樸館だより(抱樸館福岡)……………7p
- 抱樸館情報・会報誌アンケート ……8p

一般社団法人 抱樸館を支える会
賛助会員の皆さま

2026 年 7 月吉日
一般社団法人 抱樸館を支える会
会長 小林 香織

「抱樸館を支える会」の昨年度(2025年)決算報告と、 「抱樸館福岡」の経営状況などについて、ご報告いたします。

賛助会員の皆さまの温かいご支援に、心から御礼申し上げます。さて、今(2026)年も6月24日に、「一般社団法人 抱樸館を支える会」の第十六期定時社員総会が開催され、昨(2025)年度の決算報告をはじめ、必要なすべての議案について、承認・可決いただくことができました。うけて、「抱樸館を支える会」の昨(2025)年度決算報告と「抱樸館福岡」の経営状況ほかについて、以下のとおり、ご報告いたします。

1 「抱樸館を支える会」の様子について

一般社団法人 抱樸館を支える会は、「ホームレス者及び生活困窮者の支援」を目的とし、2010年4月に設立されました。そして、2013年8月からは隔月で「会報」を発行し、累計発行部数は78万部を超えています。

2017年度以降「子どもの居場所(現在はみんなの居場所)づくり」のために寄付を行いました。そして、2020年度から「子どもの居場所」、「フードサポート」の取り組みを案内しました。グリーンコープの組合員の皆さまから賛同いただき、2026年6月末現在の賛助会員数は11,645名になりました。

本当にありがたいことです。賛助会員の皆さま、どうかこれからも「抱樸館を支える会」をお支えくださいますよう、心からお願い申し上げます。

2 「抱樸館を支える会」は昨(2025)年度、以下のとおり、「抱樸館福岡」などに合計3,000万円の寄付をいたしました。そして、※こども基金・フードサポートへの1,000万円の寄付を通して「みんなの居場所、生活再生・自立相談支援機関へのフードサポート」の支援をしています。その上で、「支える会」は9,007,147円の黒字で決算することができました。

(1)今年度の収入は前年度繰越金を含めて、43,796,419円でした。賛助会費は組合員、一般会員、企業会員合わせて35,384,250円でした。

(2)支出としては抱樸館(北九州、福岡、熊本)の他、前年に引き続き「こども基金」関係に寄付しました。

(3)具体的には、右表のとおりです。

(4)支出の合計は、寄付を含めて、34,789,272円でした。

(5)2025年度の収支差額は、9,007,147円となりました。

こども基金・フードサポート	10,000,000円
抱樸館福岡	15,000,000円
抱樸館北九州	2,000,000円
抱樸館熊本	3,000,000円
合 計	30,000,000円

※子どもたちの心と体の健康と幸せを守るために設立された基金。
菓子パン利用の際の寄付金(3円/1商品)など、様々な財源を充てています。

3 上述しましたとおり「抱樸館を支える会」は、こども基金・フードサポートへの1,000万円の寄付を通して「みんなの居場所、生活再生・自立相談支援機関へのフードサポート」の支援をすることができています。

抱樸館を支える会からの寄付金は、こども基金を通して「みんなの居場所」の運営費に活用されています。「様々な事情を抱える子どもたち」を支援する取り組みの輪が広がり、小中学校にも「食育」としての「朝食支援」の取り組みが広がりました。現在、グリーンコープのフードサポートを通して、小中学校や「みんなの居場所」を中心に、合計190カ所以上の支援の一部として、大切に活用されています。また、グリーンコープが直接運営する「みんなの居場所」だけでなく、社会的意義のある取り組みとして、地域の団体も含めて既に14の府県にも広がりをみせており、さらに、支援する取り組みの輪はどんどん広がっています。この他に、生活再生支援事業が管轄する相談支援窓口では、今日、明日の食事に困窮した方へフードサポートを活用し食材を提供しています。

4 「抱樸館福岡」は「支える会」からの寄付金1,500万円を算入した上で、昨(2025)年度は8,734,315円の黒字で決算することになりました。

- (1)「抱樸館福岡」の建物建設費は2億3,317万円でした。
- (2)昨(2025)年度は、建物の減価償却費として、4,469,705円を計上しています。その結果、累計減価償却費は157,538,621円になっています。
- (3)加えて、昨年度(2025年度末)の「抱樸館福岡」の累計剰余は79,152,198円に増加しています。
- (4)「抱樸館福岡」の累計剰余(79,152,198円)と累計減価償却費(157,538,621円)を合算しますと、236,690,819円になります。これは、「抱樸館福岡」の建物建設費(2億3,317万円)の101.5%に相当いたします。
- (5)ですから、私たちは「抱樸館福岡」の建物建設費に相当する償却をすでに終えている、ということになります。

賛助会員の皆さま、これからも頑張りますので、引き続きご支援賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

以上

抱樸館を支える会の会員みなさまへ

厳しい暑さが続く季節となりました。皆様には、日頃より、抱樸館を支える会に温かいご理解とご協力をいただきころよりお礼申し上げます。

福岡県にある立花高校校長の齋藤真人さんのお話を聞く機会がありました。たくさんの心に刺さる話の中で、「当たり前」という言葉が、私の心の中をグルグルと動き回っています。私たちは、これまでの人生の中で、「当たり前」であろうとし、そして、周りの人にも、「当たり前」を求めてきたように思います。「当たり前」を否定しているわけではありません。もちろん、「当たり前」は、それはそれで素晴らしいのです。しかし、「当たり前」が引いてしまう線の外にされてしまう人がいることを私たちは知っておかなければならないと思います。抱樸館を必要とされておられる方の中には、社会が、私たちが引いてしまう「当たり前」の線の外にされてしまった方がおられるかもしれません。

「その人らしく生きられる」地域社会を皆さんと目指してまいりましょう。



抱樸館を支える会 会長
小林 香織

一年間の活動報告

ご支援ありがとうございます

みなさまからお寄せいただいた会費やご支援が、抱樸館の日々の活動の中でどのように活かされているのか、また抱樸館の運営のみならず、居場所づくりやフードサポートにも活用されていることを、一年間のそれぞれの活動を通じて報告させていただきます。

抱樸館 北九州

人生の終わりまで寄り添うということ

活動報告

抱樸館北九州では、「出会いから看取りまで」という理念のもと、住まいや生活に困難を抱える方々を支援しています。これまでは、身体状況の悪化や認知症の進行などにより抱樸館での生活が困難となり病院や施設で最期を迎えられる方がほとんどでしたが、昨秋、私たちは抱樸館で初めて看取りに関わりました。

Tさんは介護サービスを利用しながら生活されていましたが、心身の状況から介護施設への入所がよいと思われました。しかし、「施設や病院ではなく、ここで暮らしたい」という思いを持ち続け、入所を強く拒否していました。



抱樸館北九州では、専門的な介護や医療を提供することは困難です。「本当にここで最期まで過ごしていただいてよいのだろうか」、「もっと適した環境があるのではないか」と悩むことも少なくありませんでした。

そのような中、医療機関や訪問看護、介護関係者と何度も話し合いを重ね、支援体制を整えました。体調が悪化してからも、住み慣れた居室で過ごし、職員が日々声をかけながら見守る時間を大切にしました。

そして、Tさんは自室で静かに旅立たれました。深い悲しみの中にも、最期まで本人の意思に寄り添うことができたという安堵の気持ちがありました。この経験を通して、看取りとは医療や介護を提供することだけではなく、その人の意思や尊厳を尊重し、その人らしい生き方を最期まで支えることであると学びました。Tさんありがとうございました。

抱樸館

抱樸館 福岡

心温まる活動

日常生活では、3週に1度の散髪や「カフェさんぽみち(喫茶・ハンドメイド)」の映画上映、3月から始まったヨガなどによる心温まる活動が定着しています。



地域の歩き

また、各地のグリーンコープや民生委員等の見学を受け入れ、職員はDV対応から高次脳機能障害、SDGs等多岐にわたる研修で専門性を高めました。この一年で120人が入所し、110人の方が新たな一歩へ向け退所されました。(無料低額宿泊所、日常生活支援住居施設、シェルター合計、利用者実人数1,767人)

※ FRC/パン詰め…ファイバーリサイクルパン詰めのこと。組まれた衣類を海外へ輸出するために、コンテナ(パン)へ積み込む

抱樸館 熊本

支援はゆっくりと。一歩

抱樸館熊本は、運営開始から13年が経過しました。当施設では、厳しい社会状況の中で職や住まいを失い経済的に困窮状態にある方に一定期間、宿泊所の供与、食事の提供を行い、利用者の自立に向けた寄り添った支援を行っています。この13年間で55人を超える卒業生を送り出しました。

私たちは、これからも支援の在り方についてどうあるべきか頭を悩ませながら一步一步前に進みたいと思います。

活動報告

- 利用者の相談や就労支援、行政手続き、通院同行など
- アフターフォロー/お誕生日カード、広報誌、生活のための資料などお届け
- 卒業生対象の交流会(春/5月、秋/11月)

「安心の温かいタッチ」おかけのことかません。会参加

力が定着しています

毎月第2金曜日の「衣類販売」、毎週など、ボランティア。散髪ボランティアのみるこさん。笑顔がこぼれます♡



う会に参加



館のお弁当



合員などから回収さむ作業のことです。

季節の節目の豊かな行事が入居者や卒業生の絆を紡いでいます。

春

- 歩こう会に参加(3月)
- 納骨式・偲ぶ会(3月)
- お花見(4月)

夏

- 消防訓練(6月)
- 学生の実習(7月)
- 講演(7月)

秋

- 納骨式・偲ぶ会(9月)
- きずな祭(10月)

冬

- ※FRCバン詰め(12月)
- 朝食復興餅つきの参加(12月)
- 消防訓練(12月)
- おせちや初詣(1月)
- 卒業生招待食事会(1月)

一歩前へ

春の交流会の様子



集合写真

して眠れる部屋、三度かい食事、そしてスのみなさんの支援、さまで仕事にも就くでき、感謝しかあり」という言葉を交流者から頂きました。



輪投げゲーム

フードサポート

グリーンコープのフードサポートってなんですか？

2014年、「食事を摂ることも困難な状況にある子どもたちがいる現状を何とかしたい」という強い思いからスタートした支援です。主に「みんなの居場所」と「小中学校への朝食支援」をしています。

活動実績

- 190を超える団体へ支援(2026.6現在)
- 子どもの居場所関係(みんなの居場所・地域の子ども食堂など)
- 小中学校への朝食支援
- 生活困窮者の相談窓口

どんな食材を届けているの？

- ◆ 小中学校の朝食支援には、パンと牛乳をメインに提供
- ◆ 「みんなの居場所」には、グリーンコープのカタログから食材を提供

フードサポートの支援で

◆ 学校の支援では

- 単に栄養の摂取だけでなく、満足しながら、美味しく楽しく食事をする子どもが増えました。
- 朝食会場が、先生と交流できる「大切な居場所」になりました。
- 「授業に集中できるようになった」、「居眠りする子が減った」との声が届いています。

◆ 居場所では

- 広く開放することで、本当に困った子が来るようになっていきます。
- グリーンコープのフードサポートは、単に食材を届けるだけでなく、子どもが「無条件に受け入れられ、安心・安全に過ごせる居場所」を地域に根付かせることを目指しています。



みんなの居場所

「グリーンコープのみんなの居場所」は「みんなでごはんを食べること」や「一人ひとりが自分らしく過ごし、楽しく遊ぶこと」を大切にしています。子どもたちや地域住民、参加するすべての人にとって居心地の良い場所となるよう、大人も子どもと一緒にその時間を楽しんでいます。多様な多世代の人が集い、あたたかい交流が生まれ、地域にとって「心の拠り所」や「ホッとできる憩いの場」となって広がっています。

★2025年度、新たに広島に1カ所、長崎に1カ所が加わりました★

■ みんなの居場所の開設状況

(2026年5月現在:計12府県 43カ所)

- 関西・中国:
大阪、兵庫、岡山、広島、山口
- 九州:
福岡(20カ所)
佐賀(5カ所)
長崎(2カ所)
熊本(4カ所)
大分(3カ所)
鹿児島(2カ所)
宮崎(2カ所)



みんなの居場所
三里木げんきもりもりハウス



「抱樸館を支える会」の会費は、子どもたちへの支援にも活かされています。

みんなの居場所

居場所作り4月 月次報告書より



グリーンコープは子どもたちや地域の皆さんが安心して過ごせる居場所づくりをしています。子どもたちが気軽に立ち寄って遊んだり、宿題をしたり自由に過ごせる場所です。おともと一緒に過ごせます。

福岡県 (宗像市)

みんなの居場所 という

14時ごろまでは未就学児(2歳代まで)を連れた親子が多く来所し、15時以降になると小学生や幼稚園後の子どもを連れた親子が来所しました。

父親と子どもの来所も多く、「居場所があると助かる」「とても良い活動ですね」と言われるので、スタッフもとても嬉しく感じています。大人の方の参加もチラホラあって、一人でホッとできる空間と言われています。



4/2・4は来所者が50人を超えたが、会場が横に広いので、狭苦しさは感じない(4月は宗像店リニューアル工事中のため、ふくつ店での開催)

4月の開催日

- ・4/2 (木)
- ・4/4 (土)
- ・4/7 (火)
- ・4/9 (木)
- ・4/14 (火)
- ・4/16 (木)
- ・4/18 (土)
- ・4/21 (火)
- ・4/23 (木)
- ・4/28 (火)
- ・4/30 (木)

大分県 (由布市)

みどりちゃんのおうち ゆふいん

春休みと小学校が早帰りの日におやつ作りをしました。未就学児も上手に作りました。工作はこいのぼり、兜、折り紙でブレスレット作りなどをしました。

4月の開催日

- ・4/7 (火)
- ・4/14 (火)
- ・4/21 (火)
- ・4/28 (火)



パンケーキ、上手に焼けたよ!

4/7(火)のメニュー

- ・パンケーキ
- ・りんごコンポート
- ・カスタードクリーム
- ・塩おにぎり
- ・ジュース



中庭は新緑が美しく、外遊びが気持ちの良い季節になりました

宮崎県 (宮崎市)

りすのおうち グリーンベース

進級、クラス替えもあり、友だちを誘って新規の来所が増えました。必ずしも食事をとって帰るわけでもなく、来て15分くらいで別のところに行ったり、閉まる前に少しだけ来たり、居場所の利用の仕方も様々になりました。

4月の開催日

- ・4/4 (土)
- ・4/11 (土)
- ・4/18 (土)
- ・4/25 (土)



ついにグリーンベースでもシール交換が始まりました

4/18(土)のメニュー

- ・ごはん
- ・ピーマンの肉詰め
- ・かきたま汁
- ・リンゴ





「抱樸館だより」では抱樸館北九州・福岡・熊本より「旬」の話題をお届けします。

今回は、抱樸館福岡の青木館長からメッセージが届きました。



抱樸館福岡 開所16周年を迎えて

抱樸館を支える会の賛助会員のみなさま、いつも温かいご支援をいただき本当にありがとうございます。

2010年5月1日、「ホームレス状態にある人がもう一度自立できるチャンスをつくろう」という熱気と期待のなかで産声をあげた抱樸館福岡は、今年で無事に16周年を迎えることができました。これまでに私たちが迎え入れ、地域での新しい生活へと送り出してきた方々は1,700人を超えています。この歩みは、ひとえにみなさまの変わらぬ応援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。



建設前の更地



建設中の骨組み



16年目を迎えた抱樸館福岡

社会情勢の変化

この16年で、私たちの取り巻く社会情勢は大きく変化しました。現在、路上で長期間過ごす方の姿は格段に減少したものの、社会の困りごとはひきこもり、生活困窮、孤独・孤立など、より複雑で「見えにくいもの」へと姿を変えています。かつてのような長

期の路上生活を経てからの相談は格段に減少し、短期間で抱樸館につながるケースが増えました。さらに今では、住まいを失う前段階、つまり「家があるうちからのSOS」が寄せられるようになっていきます。これは、ホームレス状態になる手前での「予防的措置」が機能し始めていることを意味しており、支援のネットワークにおける大きな前進です。

また、かつてここを卒業された方々も高齢化が進んでいます。単にアパートを見つけて終わりではなく、地域移行後の介護保険の申請や住み替えのお手伝いなど、私たちが「家族の代わり」として伴走を続ける日々が増えています。独居生活を送る卒業生たちのアフターケアは、既存の公的サービスだけではカバーしきれない隙間を埋める役割として、決してやめるわけにはいかない大切な活動です。

原点は「共助」

時代の変化とともに直面する課題は変わっても、私たちの原点は変わりません。抱樸館につながったすべての人たちが「生まれてきてよかった」と思える幸せな人生を歩めるよう、これからも一人ひとりに寄り添い、歩みを共にしてまいります。

公的な支援(公助)も少しずつ改善されてきましたが、制度の狭間で苦しむ人を救うためには、まだまだみなさまと手を取り合う「共助」の力が不可欠です。これからの私たちの「伴走」も、一緒に応援していただけたら幸いです。



抱樸館福岡開所にあたり、地域の有志から贈られた16本の桜の木。16年目の今年も満開の花を咲かせました。

会報誌の感想を
お聞かせください

アンケートのご協力を お願いします

8月号
アンケートフォーム



会報誌8月号はいかがでしたしょうか？すべての項目にお答えいただく必要はございませんので、お気軽にご協力ください。

アンケートは今後の誌面づくりの参考にさせていただきますために、実施しています。お寄せいただいたご意見や感想の一部を、誌面で紹介させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

2026 6月号の アンケートより



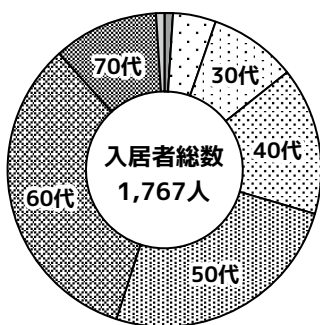
食材を無償提供しているメーカー、生産者のリストを見て、心が温まりました。私は会費で応援することくらいしかできませんが、次の会報も楽しみにしています。(40代)

抱樸館について知ることができる会報誌の存在をいつもありがたく感じています。人はいつでもどこで、どのような状況になるのかわかりません。その中で、抱樸館があるということはとても大切なことだと思います。また、それを支えているたくさんの食材提供メーカー・生産者の存在も本当にありがたいことだと思います。今後も会員として、しっかり関心を寄せていきたいと思いました。そのツールとして、毎回読みやすく、内容もわかりやすい会報誌を作ってくださいありがとうございます。(熊本40代)

改めてメーカーさんや生産者さんからの無償提供がありがたいと思いました。物価高でこれからは購入額も上がりそうなので、支える会の会員が増えるといいなと思いました。(大分60代)

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2026年6月末までの入居者数



	人数	割合
10代	15	0.8%
20代	106	6.0%
30代	152	8.6%
40代	272	15.4%
50代	430	24.3%
60代	548	31.1%
70代	224	12.7%
80代	20	1.1%
計	1,767	100%

2026年6月末現在の入居者

77名(定員81名) 男性70名、女性7名

2026年5～6月の新入居者数・退居者数

新入居者数24名 退居者数14名

(注：6月末までの入居者数1,767名は、2度、3度入居した人も1名と数えています)

抱樸館熊本・抱樸館北九州の入退居の状況は特集の際にご案内します。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員 以下の18団体が正会員です。
グリーンコープの各単協(15生協)
グリーンコープ連合会
NPO法人 抱樸(旧：北九州ホームレス支援機構)
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員 2026年6月末の賛助会員は、以下の通り
グリーンコープの共同購入組合員 11,654名
グリーンコープの店舗組合員・一般の方 139名
企業賛助会員 96社

その他(抱樸館の所在地)

抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年5月開所
抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年9月開所
抱樸館下関：新たに開設を検討中
抱樸館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

抱樸館を支える会 賛助会員・企業賛助会員 募集中！

グリーンコープの 共同購入組合員の方

1300 「抱樸館を支える会」年会費
1口 月250円×12回
(年間3,000円)

毎月の商品代金と一緒に250円引き落としとなります。

1299 「抱樸館を支える会」年会費
一括払い 1口 1,000円

お申し込みいただいた月の商品代金と一緒に、毎年一括で引き落としとなります。

※賛助会員(会費)は毎年自動更新となります。二重のお申込みにご注意ください。

一般の方、グリーンコープの 店舗組合員の方

1口1,000円の賛助会費を
何口でも申込み出来ます。
郵便振替でお願いします。

郵便振替 **01710-0-123003**
一般社団法人 抱樸館を支える会

企業賛助会員

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口(30,000円)以上でお願いします。お申込みは、「抱樸館を支える会」事務局まで。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目
5番1号 社会福祉法人グリーンコープ内
☎ **092-482-1964**

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡
(電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)
〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州
(電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)
〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本
(電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)
〒860-0811 熊本市中央区本荘